

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	岩崎 邦男
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分	3781
事務事業名	4342 消防施設管理事業	
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署	
施 策	13021400 消防・救急体制の充実	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	090103 消防費・消防費・消防施設費
	事業	010000 消防施設管理事業
事業目的		事業概要・効果
消防施設を適正に維持管理し、災害時の対応に万全を期する		<ul style="list-style-type: none"> ・経年老朽する施設の改修 ・既存施設の活動向上のための改修 ・地上式消火栓の設置及び維持管理

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・火の見の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の10基設置 ・地下式消火栓の8基設置及び19基維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防施設の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の5基設置 ・地下式消火栓の11基設置及び7基維持管理（予定）
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	なし					
算式	-					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	-					
最終年度目標の根拠	-					
指標名						
算式	-					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式	-					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		21,536	19,663
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		21,536	19,663
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,180.8	4,180.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,180.8	4,180.8
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		25,716.8	23,843.8

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	944	修繕料(消防庁舎施設・設備822、火の見122)
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	19,311	消火栓設置14,202、維持管理費5,109
その他	1,281	借上料281、火の見半鐘打鳴装置購入1,000

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	766	消防施設修繕
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	17,080	消火栓の設置13,084、維持管理費3,996
その他	1,817	借上料409、備品購入費（半鐘打鳴装置）1,408

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	消防水利の整備充実に必要 経年劣化する団詰所・機械器具置場を修繕し、また地上式半鐘打鳴装置を購入し団活動の安全と負担軽減を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地上式消火栓を設置整備することにより視認性・操作性が向上するとともに、自主防災組織での初期消火体制に有効 地上から半鐘を打鳴でき、団員の負担軽減と安全性が向上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	水道事業者の工事に併せて消火栓を設置し、コストカットを図る 中長期的な見地から半鐘打鳴装置の継続設置を検証していく	

振り返り（決算年度の取組み課題）

関係部局との連携維持
 既設の施設を維持管理する
 半鐘打鳴装置の方向性検討

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>関係部局との連携を図ることで、効率的な消火栓の維持管理を行う。また、消防団員の負担軽減と安全性の向上を図るため、継続的に半鐘打鳴装置の設置を図る。</p>		<p>地上式消火栓に変更することにより、維持管理の低減につながる。警鐘楼の必要性については、引き続き研究・検討していく。負担軽減のため半鐘打鳴装置の継続設置を図る。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	